

# やる気発生装置

## 「ウソをつける日」の意義と使い方

4月1日は、誰が言い出したのか、ウソをついてもよい日だと言われております。平成のころには、この日に合わせてグーグルの画面がおかしくなったり、企業のホームページに突拍子もない新製品が公表されたりと、いろいろありました。いま令和になり、コロナや災害でそんなご時世でもなくなったのか、フェイクニュースがとびかい政治家やら通訳やらがウソをつくなかで、年一度といえどもウソを受け入れる余裕が社会に無くなったのか、そういうものも影をひそめた感じです。かくいう僕もこの場にて「ついに結婚します！」などと書いたところ、あちこちからお祝いが届いたりして色々大変だったことがありますので、下手なウソはつかないことにします。滅多なことではウソをつかない人、と世間様に認識されているのであれば、ただただありがたいことです。

年度の区切りであるこの日に「ウソをついてもよい」というのは、考えてみればなかなか意義深いものがあります。1年先を見据えて目標を立てるのに、これ以上はない適した時だからです。みんなが心に描いている目標をウソだといったら怒られそうですが、厳しくいうならば、目標というものは達成されるまでは妄想でありウソなんです。それを真実にするためにはどういう行動をしたらいいか考えて、一歩ずつ実現に近づけていく。そうした営みこそが受験であり人生なのでしょう。

「ウソは100回言えば真実になる」といった言葉もあります。詐欺のようなものでも繰り返し耳にしていたら人間いつの間にか信じてしまう、あまり良い意味で使われません。悪用されると困りますが、一度立てた目標を何度も何度も口にして確認し続ければ実現可能性が高まっていく、という面を見れば、ぜひ活用したいことです。この春、当塾ではこれまでにないくらい多くの受験に関わらせて頂きました。「この学校にどうしても行きたい！」と言い続け、それを実現した人たちが何人も出ています（もちろん言うだけではなく、その可能性を少しずつ高めていくための行動、プロセスがあつてのことですよ）。エイプリルフールのウソをつくつもりでもいい、「1年後の自分はこうなりたい、こんな壁を越えたい！」ということのを頭に浮かべ、口に出してみてください。それを繰り返しつつ、現実にするための行動を考え実行していく。そんなお手伝いができればこれ以上嬉しいことはありません。



鴨川の下流のほうではだいたい桜の開花が進んだようですが、高野周辺ではまだ咲き始めです。ゆっくり満開に近づいていってほしいです。

### 当面の教室予定

**4/1(月)~4/5(金)**  
16:00~22:00  
**4/6(土)**  
16:00~21:00  
**4/7(日)**

お休みです m(\_ \_)m

**4/8(月)~4/12(金)**  
16:00~22:00  
※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。  
※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。